

誕生 射水市商工会

平成20年4月発行

地域に支持される

射水市商工会

— 会員数一、六〇〇名、県下最大規模 —

平成二十年四月一日、射水市商工会が誕生しました。射水市内の小杉、大門、大島、下村の四商工会が合併して誕生した射水市商工会の発足式が同市戸破の本所で行われ、織田和夫会長、分家静男射水市長、石澤義文県連会長ら関係者が新しい銘板の除幕をした。引き続き、その場で分家市長より「的確な合併を図られた商工会の頑張りに期待する」と激励の言葉をいただきました。



除幕した射水市商工会館にて記念撮影

(小川設立委員、小谷副会長、織田会長、分家市長、石澤県連会長、山田副会長、黒川監事)

(写真左より)



本所にて全職員に辞令交付

射水市商工会は会員数一、五八六名と県下最大規模を誇る商工会が始動した。同商工会は県内では大沢野細入商工会に続く商工会合併二例目。管内事業所数は二、六八一で富山、高岡、魚津の各商工会議所に次ぐ、県内商工団体中四位の規模となった。

本所を旧小杉商工会館に置き、他の旧商工会に支所を設置する。全域を担当する経営指導員が、支所の経営指導員と連携しながら会員の経営支援にあたる。

四月一日、射水市商工会本所内において石澤県連会長立会いのもと、織田会長より十九名の全職員に辞令交付が行われました。

織田会長は、地域に信頼され県内の商工会合併の良い先例となるよう、職員一丸となり使命を果たしてほしいと訓示。職員を代表して堀田豊和事務局長が商工会設立当初の原点にたつて経営改善普及事業に積極的に取り組んでいきたいと答辞、石澤県商工会連合会長が祝辞を述べられた。

祝 射水市商工会発足式

